

ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

運用報告書 (全体版) 第12期

(決算日 2024年6月10日)

(作成対象期間 2023年12月12日~2024年6月10日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2018年6月11日~2028年6月9日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	イ. アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)の受益証券 ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし	イ. アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)の受益証券 ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーストック・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界のフィンテック関連企業の株式に投資し、値上がり益を追求することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先 (コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00~17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<2752>

<2753>

為替ヘッジあり

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC World指数 (税引後配当込み、米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税引後 分配金	期騰落 中率	(参考指数)	期騰落 中率			
8 期末(2022年 6 月10日)	円 8,647	円 0	% △18.4	13,174	% △13.5	% -	% 99.0	百万円 2,824
9 期末(2022年12月12日)	7,876	0	△ 8.9	12,905	△ 2.0	-	99.0	2,250
10期末(2023年 6 月12日)	8,179	0	3.8	14,035	8.8	-	99.0	2,200
11期末(2023年12月11日)	8,212	100	1.6	14,806	5.5	-	99.1	2,018
12期末(2024年 6 月10日)	8,255	50	1.1	16,987	14.7	0.0	99.3	1,775

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI AC World指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc.（「MSCI」）の承諾を得て、MSCI AC World指数（税引後配当込み、米ドルベース）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

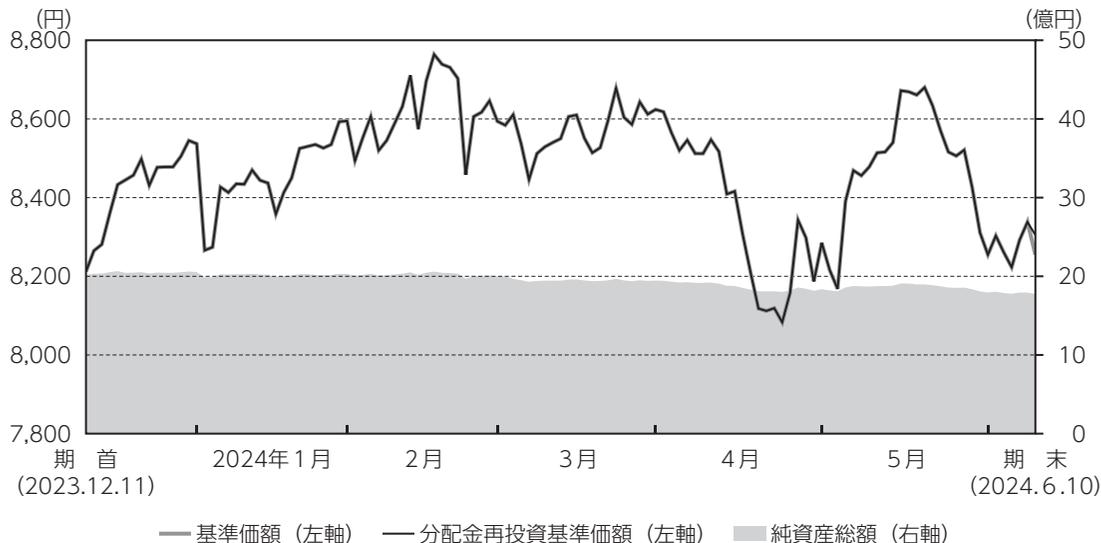
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：8,212円

期末：8,255円（分配金50円）

騰落率：1.1%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

当作成期は、主として米国や欧州の株式市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World 指数 (税引後配当込み、米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2023年12月11日	円 8,212	% -	14,806	% -	% -	% 99.1
12月末	8,537	4.0	15,463	4.4	-	99.2
2024年 1 月末	8,595	4.7	15,661	5.8	-	99.2
2 月末	8,594	4.7	16,113	8.8	-	99.0
3 月末	8,624	5.0	16,682	12.7	0.0	99.1
4 月末	8,285	0.9	16,329	10.3	0.0	99.5
5 月末	8,255	0.5	16,700	12.8	0.0	99.1
(期末) 2024年 6 月10日	8,305	1.1	16,987	14.7	0.0	99.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

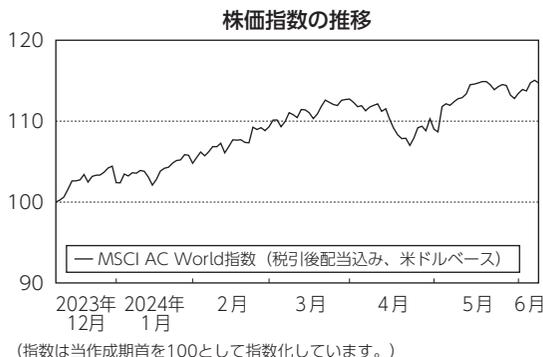
投資環境について

(2023.12.12～2024.6.10)

■グローバル株式市況

グローバル株式市況は上昇しました。

グローバル株式市況は、当作成期首より、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化したことや、FRB（米国連邦準備制度理事会）議長が将来の利下げについての議論を始めたことを受けて利下げ観測が高まったことなどが好感され、上昇しました。2024年1月以降も、インフレ率の低下傾向が継続したことやAI（人工知能）関連企業が良好な決算を発表したこと、製造業の景況感が改善したことなどが好感され、ほぼ一貫して市況の上昇が継続しました。しかし4月に入ると、想定ほどインフレ率が低下せず米国の利下げ開始が後ずれするとの見方が強まり、反落しました。4月下旬以降は、AI関連企業の好業績期待などから、再び上昇して当作成期末を迎えました。



前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）：アクサIM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）

当ファンドが投資する「アクサIM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT（情報技術）を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化していき、長期にわたる成長市場になっていくと予想しています。

運用にあたっては、高い成長性と強固なバランスシートを持つ企業に着目しています。当ファンドの

ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジあり）

組入銘柄の多くは、市場平均よりも高い成長性と優れた営業実績を提供していると分析しています。引き続き、長期トレンドを捉える成長企業に投資することで、ファンドの成長をめざします。

また、保有する実質外貨建資産については為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2023.12.12~2024.6.10)

■当ファンド

当ファンドは、「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）」と「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通して、「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）」を高位に組み入れました。

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）

当ファンドの主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

当作成期は、「キャッシュレス・ビジネス」では、米国のクレジットカード会社ビザなど、「フィンテック技術基盤」では、クレジット・マーケティング・サービスを提供するエクスペリアンなど、「次世代金融リーダー」では、英国のロンドン証券取引所グループなどを組み入れました。

個別銘柄については、成長鈍化が懸念されたインドの大手金融機関、HDFC銀行を全売却した一方、中南米最大のネット銀行ヌー・ホールディングスや日本の中小企業向けクラウド会計ソフトを提供するフリーなどを新たに組み入れました。

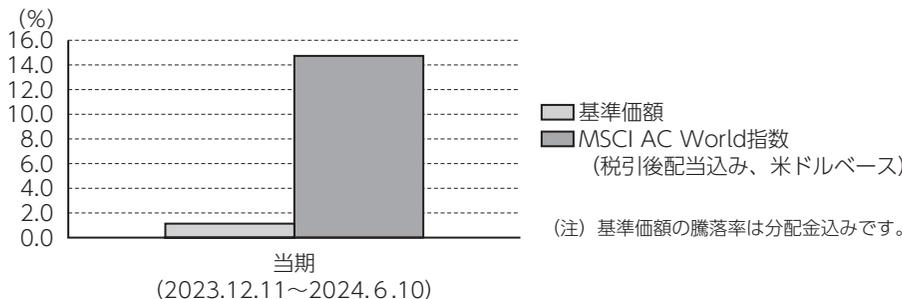
また、保有する実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行いました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2023年12月12日 ～2024年6月10日	
当期分配金（税込み）	(円)	50
対基準価額比率	(%)	0.60
当期の収益	(円)	0
当期の収益以外	(円)	49
翌期繰越分配対象額	(円)	2,034

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	0.01円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		672.46
(d) 分配準備積立金	✓	1,412.20
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		2,084.68
(f) 分配金		50.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		2,034.68

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）

当ファンドが投資する「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT（情報技術）を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりとともに市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化していき、長期にわたる成長市場になっていくと予想しています。

運用にあたっては、高い成長性と強固なバランスシートを持つ企業に着目しています。当ファンドの組入銘柄の多くは、市場平均よりも高い成長性と優れた営業実績を提供していると分析しています。引き続き、長期トレンドを捉える成長企業に投資することで、ファンドの成長をめざします。

また、保有する実質外貨建資産については為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項目	当期 (2023.12.12~2024.6.10)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	52円	0.612%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,478円です。
（投信会社）	(16)	(0.191)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(35)	(0.410)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	52	0.616	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

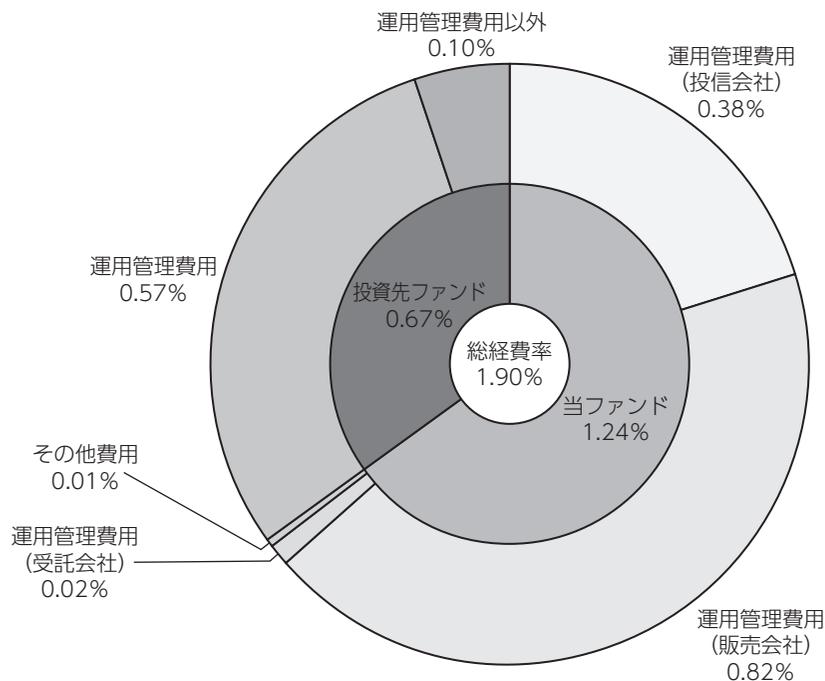
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.90%です。



総経費率 (①+②+③)	1.90%
①当ファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2023年12月12日から2024年6月10日まで)

銘柄	柄	買付		売付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
国内	アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド (ヘッジあり) (適格機関投資家専用)	千口 70,995.404	千円 79,000	千口 321,662.358	千円 357,000

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券 アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド (ヘッジあり) (適格機関投資家専用)	千口 1,621,355.463	千円 1,762,737	% 99.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首 当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 0	千口 0	千円 0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年6月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 1,762,737	% 97.5
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	45,102	2.5
投資信託財産総額	1,807,840	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年6月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,807,840,897円
コール・ローン等	45,102,240
投資信託受益証券(評価額)	1,762,737,659
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	998
(B) 負債	32,484,641
未払収益分配金	10,753,173
未払解約金	9,725,525
未払信託報酬	11,926,175
その他未払費用	79,768
(C) 純資産総額(A - B)	1,775,356,256
元本	2,150,634,729
次期繰越損益金	△ 375,278,473
(D) 受益権総口数	2,150,634,729口
1万口当り基準価額(C/D)	8,255円

*期首における元本額は2,457,931,293円、当作成期間中における追加設定元本額は16,408,866円、同解約元本額は323,705,430円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は8,255円です。

*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は375,278,473円です。

■損益の状況

当期 自2023年12月12日 至2024年6月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	4,201円
受取利息	4,893
支払利息	△ 692
(B) 有価証券売買損益	31,959,924
売買益	40,999,471
売買損	△ 9,039,547
(C) 信託報酬等	△ 12,005,943
(D) 当期損益金(A + B + C)	19,958,182
(E) 前期繰越損益金	△514,557,723
(F) 追加信託差損益金	130,074,241
(配当等相当額)	(144,622,707)
(売買損益相当額)	(△ 14,548,466)
(G) 合計(D + E + F)	△364,525,300
(H) 収益分配金	△ 10,753,173
次期繰越損益金(G + H)	△375,278,473
追加信託差損益金	130,074,241
(配当等相当額)	(144,622,707)
(売買損益相当額)	(△ 14,548,466)
分配準備積立金	292,963,065
繰越損益金	△798,315,779

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,000円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	144,622,707
(d) 分配準備積立金	303,713,238
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	448,338,945
(f) 分配金	10,753,173
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	437,585,772
(h) 受益権総口数	2,150,634,729口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)

50円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

為替ヘッジなし

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC World指数 (税引後配当込み、円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率			
8 期末(2022年 6 月10日)	円 10,480	円 0	% △ 5.3	16,162	% 2.4	% -	% 99.1	百万円 18,709
9 期末(2022年12月12日)	9,860	0	△ 5.9	16,131	△ 0.2	-	99.0	15,360
10期末(2023年 6 月12日)	10,784	0	9.4	17,886	10.9	-	99.4	14,749
11期末(2023年12月11日)	10,935	850	9.3	19,677	10.0	-	99.1	13,230
12期末(2024年 6 月10日)	11,509	700	11.7	24,378	23.9	0.0	99.1	12,614

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI AC World指数（税引後配当込み、円換算）は、MSCI Inc.（「MSCI」）の承諾を得て、MSCI AC World指数（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

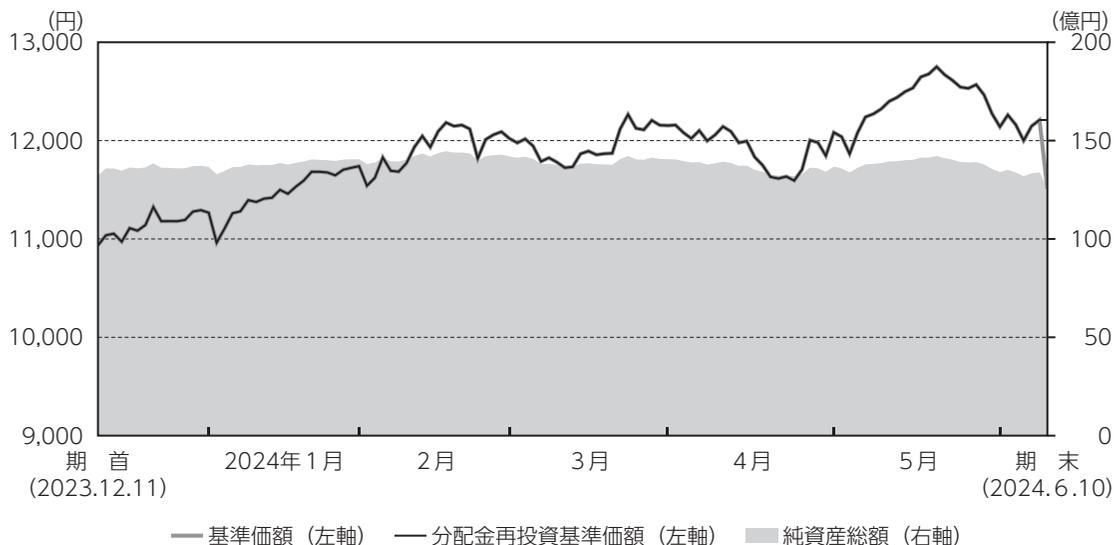
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,935円

期末：11,509円（分配金700円）

騰落率：11.7%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、米国や欧州の株式市況が上昇したことに加え、米ドルやユーロが対円で上昇（円安）したことなどがプラス要因となり、上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World 指数 (税引後配当込み、円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2023年12月11日	円 10,935	% -	19,677	% -	% -	% 99.1
12月末	11,267	3.0	20,045	1.9	-	99.1
2024年 1 月末	11,740	7.4	21,121	7.3	-	99.5
2 月末	12,022	9.9	22,190	12.8	-	99.1
3 月末	12,153	11.1	23,086	17.3	0.0	99.4
4 月末	12,083	10.5	23,417	19.0	0.0	99.3
5 月末	12,140	11.0	23,924	21.6	0.0	99.5
(期末) 2024年 6 月10日	12,209	11.7	24,378	23.9	0.0	99.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

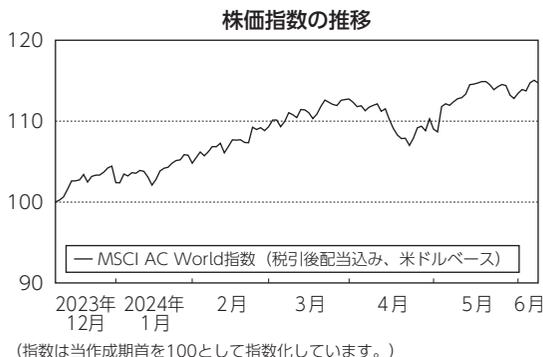
投資環境について

(2023.12.12~2024.6.10)

■グローバル株式市況

グローバル株式市況は上昇しました。

グローバル株式市況は、当作成期首より、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化したことや、FRB（米国連邦準備制度理事会）議長が将来の利下げについての議論を始めたことを受けて利下げ観測が高まったことなどが好感され、上昇しました。2024年1月以降も、インフレ率の低下傾向が継続したことやAI（人工知能）関連企業が良好な決算を発表したこと、製造業の景況感が改善したことなどが好感され、ほぼ一貫して市況の上昇が継続しました。しかし4月に入ると、想定ほどインフレ率が低下せず米国の利下げ開始が後ずれするとの見方が強まり、反落しました。4月下旬以降は、AI関連企業の好業績期待などから、再び上昇して当作成期末を迎えました。



■為替相場

為替相場は、米ドルおよびユーロともに対円で上昇しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、日銀による政策修正や米国金利の大幅な低下を受けて下落（円高）しましたが、2024年に入ってから、米国金利の上昇や日銀による金融緩和姿勢の維持などを背景に円安米ドル高に転じました。3月には、日銀がマイナス金利解除など大規模な金融緩和の終了を発表したものの、他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、当作成期末にかけて円安基調が続きました。



ユーロ対円為替相場は、当作成期首より2023年末にかけて、ユーロ圏の一部の国でインフレ指標が市場予想を下振れ、早期の利下げを織り込む水準まで金利低下が進んだことなどから、円高ユーロ安となりました。2024年に入り、複数のECB（欧州中央銀行）高官が早期の利下げを否定して金利上昇が進んだ一方、日銀は金融緩和姿勢を継続したことから、円安ユーロ高に転じました。3月以降は、米ドル対円為替相場で説明したように、円安基調が続きました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）：アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドが投資する「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT（情報技術）を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化していき、長期にわたる成長市場になっていくと予想しています。

運用にあたっては、高い成長性と強固なバランスシートを持つ企業に着目しています。当ファンドの組入銘柄の多くは、市場平均よりも高い成長性と優れた営業実績を提供していると分析しています。引き続き、長期トレンドを捉える成長企業に投資することで、ファンドの成長をめざします。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2023.12.12~2024.6.10)

■当ファンド

当ファンドは、「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」と「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通して、「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」を高位に組み入れました。

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドの主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

当作成期は、「キャッシュレス・ビジネス」では、米国のクレジットカード会社ビザなど、「フィンテック技術基盤」では、クレジット・マーケティング・サービスを提供するエクスペリアンなど、「次世代金融リーダー」では、英国のロンドン証券取引所グループなどを組み入れました。

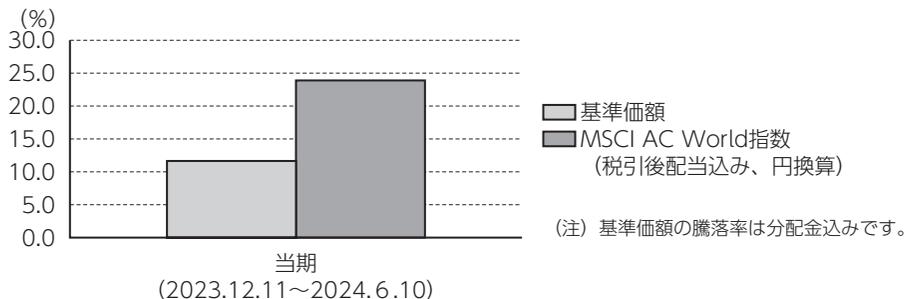
個別銘柄については、成長鈍化が懸念されたインドの大手金融機関、HDFC銀行を全売却した一方、中南米最大のネット銀行ヌー・ホールディングスや日本の中小企業向けクラウド会計ソフトを提供するフリーなどを新たに組み入れました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2023年12月12日 ～2024年6月10日	
当期分配金（税込み）	(円)	700
対基準価額比率	(%)	5.73
当期の収益	(円)	480
当期の収益以外	(円)	219
翌期繰越分配対象額	(円)	1,551

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	0.02円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓	480.81
(c) 収益調整金		362.51
(d) 分配準備積立金	✓	1,408.12
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		2,251.48
(f) 分配金		700.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		1,551.48

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドが投資する「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT（情報技術）を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりとともに市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化していき、長期にわたる成長市場になっていくと予想しています。

運用にあたっては、高い成長性と強固なバランスシートを持つ企業に着目しています。当ファンドの組入銘柄の多くは、市場平均よりも高い成長性と優れた営業実績を提供していると分析しています。引き続き、長期トレンドを捉える成長企業に投資することで、ファンドの成長をめざします。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項目	当期 (2023.12.12~2024.6.10)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	73円	0.613%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,864円です。
（投信会社）	(23)	(0.191)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(49)	(0.410)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	73	0.617	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

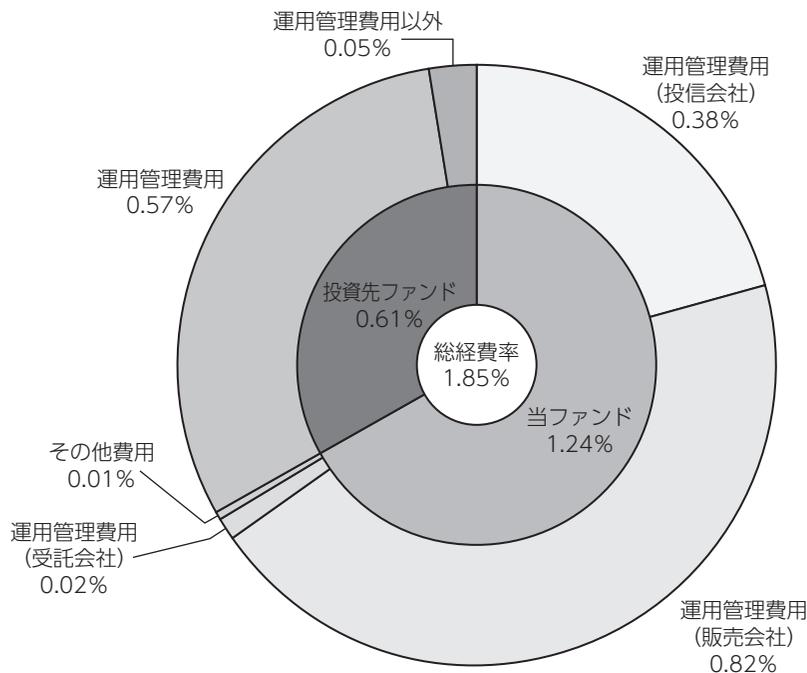
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85%です。



総経費率 (①+②+③)	1.85%
①当ファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2023年12月12日から2024年6月10日まで）

銘柄	柄	買付		売付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
国内	アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	千口 451,782.703	千円 730,000	千口 1,758,990.602	千円 2,950,000

（注1）金額は受渡し代金。
（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券 アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式 ファンド（ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	千口 7,256,002.231	千円 12,499,189	% 99.1

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首 当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 0	千口 0	千円 0

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年6月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 12,499,189	% 92.6
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	1,002,109	7.4
投資信託財産総額	13,501,299	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年6月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	13,501,299,557円
コール・ローン等	1,002,109,116
投資信託受益証券(評価額)	12,499,189,443
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	998
(B) 負債	886,369,384
未払収益分配金	767,250,321
未払解約金	33,966,213
未払信託報酬	84,586,516
その他未払費用	566,334
(C) 純資産総額(A - B)	12,614,930,173
元本	10,960,718,878
次期繰越損益金	1,654,211,295
(D) 受益権総口数	10,960,718,878口
1万円当り基準価額(C/D)	11,509円

*期首における元本額は12,099,582,901円、当作成期間中における追加設定元本額は261,360,253円、同解約元本額は1,400,224,276円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は11,509円です。

■損益の状況

当期 自2023年12月12日 至2024年6月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	31,564円
受取利息	36,929
支払利息	△ 5,365
(B) 有価証券売買損益	1,480,007,941
売買益	1,607,362,826
売買損	△ 127,354,885
(C) 信託報酬等	△ 85,152,850
(D) 当期損益金(A + B + C)	1,394,886,655
(E) 前期繰越損益金	675,563,587
(F) 追加信託差損益金	351,011,374
(配当等相当額)	(397,344,430)
(売買損益相当額)	(△ 46,333,056)
(G) 合計(D + E + F)	2,421,461,616
(H) 収益分配金	△ 767,250,321
次期繰越損益金(G + H)	1,654,211,295
追加信託差損益金	351,011,374
(配当等相当額)	(397,344,430)
(売買損益相当額)	(△ 46,333,056)
分配準備積立金	1,303,199,921

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	31,564円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	527,010,123
(c) 収益調整金	397,344,430
(d) 分配準備積立金	1,543,408,555
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	2,467,794,672
(f) 分配金	767,250,321
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,700,544,351
(h) 受益権総口数	10,960,718,878口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)

700円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

<補足情報>

当ファンド（ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし））が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2023年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2024年6月10日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2023年12月12日から2024年6月10日まで)

買		付		売		付	
銘	柄	金	額	銘	柄	金	額
1219国庫短期証券	2024/6/24		千円 129,997,160				千円

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2024年6月10日現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンド（189,378,927千円）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2024年6月10日現在								
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率			
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満	
国債証券	千円 130,000,000	千円 129,999,594	% 68.6	% -	% -	% -	% 68.6	

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2024年6月10日現在						
区 分	銘	柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	1219国庫短期証券		% -	千円 130,000,000	千円 129,999,594	2024/06/24

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第14期 (決算日 2023年12月11日)

(作成対象期間 2022年12月10日～2023年12月11日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

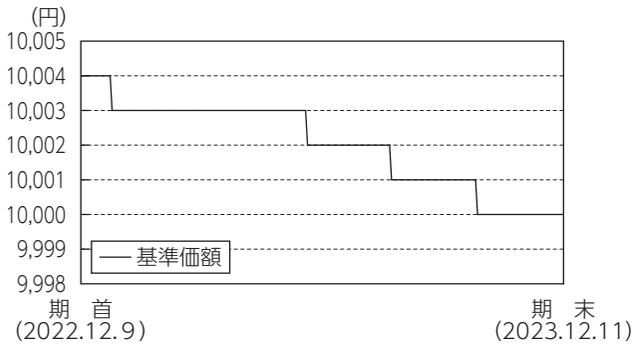
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2022年12月9日	円	%	%
	10,004	-	-
12月末	10,004	0.0	-
2023年1月末	10,003	△0.0	-
2月末	10,003	△0.0	-
3月末	10,003	△0.0	-
4月末	10,003	△0.0	-
5月末	10,003	△0.0	-
6月末	10,002	△0.0	-
7月末	10,002	△0.0	-
8月末	10,001	△0.0	-
9月末	10,001	△0.0	-
10月末	10,000	△0.0	-
11月末	10,000	△0.0	-
(期末)2023年12月11日	10,000	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,004円 期末：10,000円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合 計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 224,869,425	% 100.0
投資信託財産総額	224,869,425	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	224,869,425,628円
コール・ローン等	224,869,425,628
(B) 負債	1,500,000,000
未払解約金	1,500,000,000
(C) 純資産総額(A - B)	223,369,425,628
元本	223,366,515,143
次期繰越損益金	2,910,485
(D) 受益権総口数	223,366,515,143口
1万口当り基準価額(C/D)	10,000円

* 期首における元本額は159,095,941,234円、当作成期間中における追加設定元本額は314,669,316,126円、同解約元本額は250,398,742,217円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック	947,268円
ダイワ/ミレアセット・インド株式ファンド - インドの匠	29,910,270円
ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジあり)	998円
ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジなし)	998円
US短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型)	102,434円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (為替ヘッジあり)	39,849円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型)	3,985円
- ロボテック (年1回) - (為替ヘッジあり)	
i Freeレバレッジ S & P 500	8,578,400,572円
i Freeレバレッジ NASDAQ100	136,597,495,537円
クリーンテック株ファンド (資産成長型)	998,802円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (毎月決算/予想分配金提示型)	999円
世界インフラ戦略ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型)	499,501円
i FreeETF 日経平均レバレッジ・インデックス	3,766,275,979円
i FreeETF 日経平均ダブルインバース・インデックス	7,383,524,817円
i FreeETF TOPIXレバレッジ (2倍) 指数	1,207,970,593円
i FreeETF TOPIXダブルインバース (-2倍) 指数	926,253,680円
i FreeETF 日経平均インバース・インデックス	8,758,653,432円
i FreeETF TOPIXインバース (-1倍) 指数	11,471,375,420円
i FreeETF JPY日経400レバレッジ・インデックス	788,263,236円
i FreeETF JPY日経400インバース・インデックス	114,002,117円
i FreeETF JPY日経400ダブルインバース・インデックス	78,926,070円
i FreeETF S & P 500レバレッジ	556,085,029円
i FreeETF S & P 500インバース	2,883,612,458円
先進国トータルリターン戦略ファンド (リス抑制型/適格機関投資家専用)	207,414,601円
ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - SLトレード	4,992,083円
ブルベア・マネー・ポートフォリオ6	25,460,730,955円
ブル3倍日本株ポートフォリオ6	11,487,636,953円
ベア2倍日本株ポートフォリオ6	3,017,601,716円
ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ	44,637,919円
ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型)	9,957円
ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジあり)	997円
ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジなし)	997円
ダイワ/ミレアセット亜細亜株式ファンド	4,148円
通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 米ドル・コース	10,833円
通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) ブラジル・リアル・コース	10,788円
通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 通貨セレクト・コース	12,751円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回)	100,588円
ダイワ/ミレアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド	5,813円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,000円です。

■損益の状況

当期 自2022年12月10日 至2023年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△69,335,817円
支払利息	△69,335,817
(B) 当期損益金(A)	△69,335,817
(C) 前期繰越損益金	62,057,963
(D) 解約差損益金	△51,876,027
(E) 追加信託差損益金	62,064,366
(F) 合計(B + C + D + E)	2,910,485
次期繰越損益金(F)	2,910,485

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

	為替ヘッジなし	為替ヘッジあり
商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2050年7月15日まで	
運用方針	アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	ベビーファンド	マザーファンドの受益証券
	マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
ベビーファンドの運用方法	<p>1. 主として、マザーファンドの受益証券を通じて日本を含む世界のフィンテック関連企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。投資にあたっては、①キャッシュレス・ビジネス、②テクノロジーを積極的に取り込む金融ビジネス、③フィンテックの技術基盤の3つの成長テーマに着目します。</p> <p>※当ファンドにおいてフィンテック関連企業とは、多岐にわたる新たなテクノロジーを通じて、保険、資産運用、融資、決済などの既存の金融サービスに変革をもたらす企業をいいます。</p> <p>2. マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位に維持します。</p>	<p>3. 実質組入外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。</p> <p>※一部の通貨について、為替ヘッジが困難、あるいは、ヘッジコストが過大と判断される際には、為替ヘッジを行わない、または他の通貨による代替ヘッジを行う場合があります。</p>
	<p>3. 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	<p>4. 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</p>
マザーファンドの運用方法	<p>1. 主として、日本を含む世界のフィンテック関連企業の株式に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。投資にあたっては、①キャッシュレス・ビジネス、②テクノロジーを積極的に取り込む金融ビジネス、③フィンテックの技術基盤の3つの成長テーマに着目します。</p> <p>※当ファンドにおいてフィンテック関連企業とは、多岐にわたる新たなテクノロジーを通じて、保険、資産運用、融資、決済などの既存の金融サービスに変革をもたらす企業をいいます。</p> <p>2. ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行うことを基本とします。</p> <p>イ) 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式の中から、金融・経済情勢などを勘案した上で、フィンテック分野で長期にわたり成長の可能性を有する企業群を選定します。その中から、流動性の低い銘柄を除外したものを投資対象銘柄として選定します。</p> <p>ロ) 投資対象銘柄の中から、詳細なファンダメンタル企業分析を行い、中長期的な収益成長性、フィンテック分野における優位性、新しい技術を開発または活用する能力、市場をリードする商品・サービスの有無、強力な経営陣などを考慮することで、組入候補銘柄を選定します。</p> <p>ハ) 選定した組入候補銘柄から、株価の上昇期待度や下落の余地、ポートフォリオ全体のリスクなどを考慮して、確信度に基づいて組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。</p>	<p>3. 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。</p> <p>4. 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズ・パリに運用の指図に関する権限を委託します。</p> <p>5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>6. 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</p>
	<p>3. 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。</p>	<p>4. 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズ・パリに運用の指図に関する権限を委託します。</p> <p>5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>6. 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</p>
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	毎決算時に原則として以下の方針に基づき分配を行います。	
	<p>①分配対象額の範囲内は繰越分を含めた利益、配当等収益と売買益（繰越欠損補填後、評価損益を含む）等の金額とします。</p> <p>②分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないこともあります。将来の配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド (為替ヘッジなし／為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)

追加型投信／海外／株式

運用報告書（全体版）

第12期（決算日 2024年5月10日）

受益者の皆様へ

平素は格別のお引き立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし／為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」は、このたび第12期の決算を行いました。当ファンドは、アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンドの受益証券を通じて、日本を含む世界のフィンテック関連株式に投資することにより、信託財産の成長を目指します。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

引き続き一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
東京都港区白田1-17-3 NBFプラチナタワー14階
<http://www.axa-im.co.jp/>

《当運用報告書の記載内容に関する問い合わせ先》
電話番号：03-5447-3160
受付時間：9：00～17：00（土日祭日を除く）

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率	純資産額
	(分配落)	税金 込 配 金	期騰 落 中 率		
	円	円	%	%	百万円
8期(2022年5月10日)	12,249	0	△17.9	95.8	23,855
9期(2022年11月10日)	13,054	0	6.6	96.5	22,412
10期(2023年5月10日)	13,371	0	2.4	96.6	20,881
11期(2023年11月10日)	14,296	0	6.9	94.7	19,189
12期(2024年5月10日)	17,361	0	21.4	95.9	17,614

(注1) 基準価額および分配金は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基準価額		株式組入比率
	騰落率	騰落率	
(期首) 2023年11月10日	円	%	%
11月末	14,296	—	94.7
12月末	15,136	5.9	94.7
2024年1月末	15,793	10.5	92.4
2月末	16,479	15.3	95.7
3月末	16,898	18.2	96.5
4月末	17,102	19.6	94.7
4月末	17,016	19.0	95.4
(期末) 2024年5月10日	17,361	21.4	95.9

(注1) 基準価額は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み、騰落率は期首比です。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		株式組入比率	純資産額
		税金 分	騰落率		
	円	円	%	%	百万円
8期(2022年5月10日)	10,393	0	△26.5	95.1	2,727
9期(2022年11月10日)	9,889	0	△4.8	95.3	2,250
10期(2023年5月10日)	10,327	0	4.4	97.3	2,207
11期(2023年11月10日)	9,695	0	△6.1	96.0	1,894
12期(2024年5月10日)	11,088	0	14.4	96.5	1,850

(注1) 基準価額および分配金は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期中の基準価額の推移

年月日	基準価額	騰落率	
		騰落率	株式組入比率
(期首) 2023年11月10日	円 9,695	% -	% 96.0
11月末	10,400	7.3	93.7
12月末	11,117	14.7	88.1
2024年1月末	11,207	15.6	94.5
2月末	11,216	15.7	96.1
3月末	11,267	16.2	94.0
4月末	10,828	11.7	96.9
(期末) 2024年5月10日	11,088	14.4	96.5

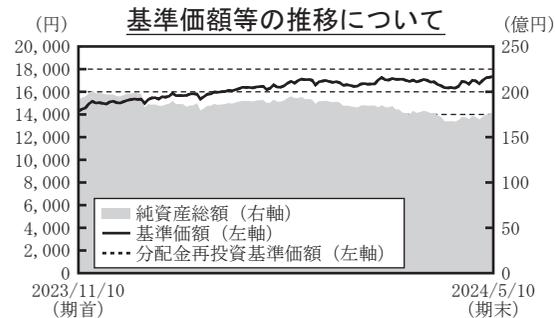
(注1) 基準価額は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み、騰落率は期首比です。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

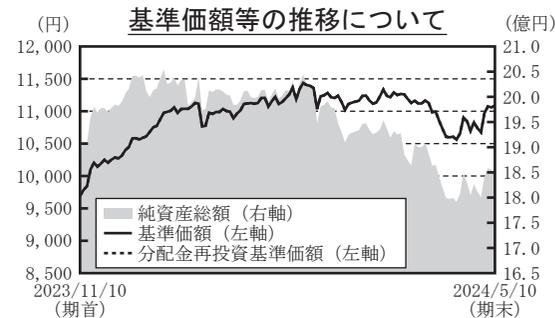
■当期の運用状況（2023年11月11日～2024年5月10日）

為替ヘッジなし



期首：14,296円
 期末：17,361円（既払分配金0円）
 騰落率：21.4%（分配金再投資ベース）

為替ヘッジあり



期首：9,695円
 期末：11,088円（既払分配金0円）
 騰落率：14.4%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

○為替ヘッジなし

当期は、米国や欧州を中心に保有銘柄の株価が全般的に上昇したことや、為替市場で主として米ドルやユーロに対して円安が進行したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

○為替ヘッジあり

当期は、米国や欧州を中心に保有銘柄の株価が全般的に上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

当期のグローバル株式市場は、期初より米連邦準備理事会（FRB）が現在の利上げサイクルを終了させるとの期待や、2024年に利下げが行われる可能性があるとの見方に後押しされて大きく上昇しました。ガザでの停戦合意も市場のセンチメントの好材料となりました。12月もインフレ率の減速、FRBの利上げ終了及び2024年前半における利下げ開始への期待感が市場を押し上げて堅調なパフォーマンスを持続しました。2024年1月以降も良好なマクロ経済統計の発表および2023年10-12月期の好調な決算発表が好感されて、米国、欧州、日本で高値を更新しました。2月も上昇トレンドを継続し、3月は好調なマクロ経済を背景に、世界の株価指数は歴史的な高値を記録しました。4月に入ると一転して、米国の利下げ開始はやや後ずれするとの見方に傾き始めたことや地政学面においては中東における対立が深刻化し、投資家のリスク選好度に重くのしかかったことも影響して下落しましたが、期を通して上昇しました。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初は151円台から期末には155円台となり、ユーロ・円レートは期初は161円台から期末には167円台となりました。

当期は、米ドルはFRBによる早期の利下げ観測が後退したことや、日銀が4月の金融政策決定会合で金融政策の現状維持を決定したことを受けて日米金利差が開いた状況が長く続くとの見方が強まったことなどから、ユーロはユーロ圏の景気回復期待から米ドル・ユーロに対して円安が進行しました。

【ポートフォリオについて】

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れました。

○アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド

当ファンドは、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマであるキャッシュレス・ビジネス、フィンテック技術基盤、次世代金融リーダーに着目して、フィンテック企業に投資を行います。フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長を目指します。企業規模の面ではビザやロンドン証券取引所グループのような大型株からフィネコバンク・バンカ・フィネコやネクシィなどの中小型株にも幅広く投資しています。地域別ではフィンテック関連企業の技術革新において先進的な地域である米国を中心に、グローバルに投資をしています。

当期は、フランスの電子決済プラットフォームの開発・運営企業ワールドラインと中国のインシュアテック企業衆安在線財産保険を全売却しました。また、スペインのサンタンデール銀行の株式を一部売却し、銀行への資産配分を縮小しました。一方で、教育・医療・旅行などの業種に特化した決済ソリューションを提供する米国のフライワイヤーと様々なフィンテック・ソリューションを開発するERPソフトウェアを提供するスウェーデンのフォートノックスを新たに組み入れました。

【当ファンドのベンチマークの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【分配金】

○為替ヘッジなし

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益の分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたします。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

		第12期
		2023年11月11日～2024年5月10日
当期分配金		—
	（対基準価額比率）	—%
	当期の収益	—
	当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額		7,361

- (注1) 「当期の収益」は「費用控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備設立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- (注3) 「当期の収益」および「当期の収益以外」の算出に当たっては、1万口当たりで小数点以下を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

○為替ヘッジあり

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益の分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたします。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

		第12期	
		2023年11月11日～2024年5月10日	
当期分配金		—	
	（対基準価額比率）	—%	
	当期の収益	—	
	当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額		5,271	

（注1）「当期の収益」は「費用控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備設立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

（注2）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）「当期の収益」および「当期の収益以外」の算出に当たっては、1万口当たりで小数点以下を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れる方針です。

○アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド

当ファンドは、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマであるキャッシュレス・ビジネス、フィンテック技術基盤、次世代金融リーダーに着目して、フィンテック企業に投資を行います。フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長を目指します。

■ 1万口当たりの費用明細（2023年11月11日～2024年5月10日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	46円	0.285%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は16,272円です。
（投 信 会 社）	(45)	(0.273)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	(0)	(0.000)	販売会社分は、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.011)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売 買 委 託 手 数 料	3	0.019	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(3)	(0.019)	
そ の 他 費 用	4	0.024	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(3)	(0.021)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	53	0.327	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況（2023年11月11日～2024年5月10日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アクサ IM・グローバル・ フィンテック関連株式マザーファンド	千口 236,297	千円 400,000	千口 3,422,217	千円 5,640,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買比率（2023年11月11日～2024年5月10日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	8,810,951千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	19,524,476千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.45

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2023年11月11日～2024年5月10日）

期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2023年11月11日～2024年5月10日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2024年5月10日現在）

親投資信託残高

種 類	期 首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	千口 12,991,990	千口 9,806,069	千円 17,612,682

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

（2024年5月10日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	17,612,682	99.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	55,578	0.3
投 資 信 託 財 産 総 額	17,668,260	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建て資産（18,917,191千円）の投資信託財産総額（19,474,116千円）に対する比率は、97.1%です。

（注3）外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=155.70円、1シンガポールドル=115.06円、1英ポンド=194.95円、1スウェーデンクローナ=14.34円、1メキシコペソ=9.277円、100インドネシアルピア=0.97円、1ブラジルレアル=30.26円、1南アフリカランド=8.43円、1ユーロ=167.83円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2024年5月10日現在）

項 目	当 期 末
(A) 資 産	17,668,260,398円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	55,578,152
アクサ IM・グローバル・ フィンテック関連株式マザーファンド(評価額)	17,612,682,246
(B) 負 債	53,406,885
未 払 信 託 報 酬	52,842,585
そ の 他 未 払 費 用	564,300
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	17,614,853,513
元 本	10,146,070,194
次 期 繰 越 損 益 金	7,468,783,319
(D) 受 益 権 総 口 数	10,146,070,194口
1万口当り基準価額(C/D)	17,361円

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. 期首元本額 | 13,422,749,964円 |
| 期中追加設定元本額 | 451,782,703円 |
| 期中一部解約元本額 | 3,728,462,473円 |
| 2. 1口当り純資産額 | 1.7361円 |

■損益の状況

当期（自 2023年11月11日 至 2024年5月10日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 23,515円
受 取 利 息	4,918
支 払 利 息	△ 28,433
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	3,087,519,567
売 買 益	3,651,341,801
売 買 損	△ 563,822,234
(C) 信 託 報 酬 等	△ 53,425,809
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	3,034,070,243
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	3,304,309,591
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,130,403,485
(配 当 等 相 当 額)	(930,798,704)
(売 買 損 益 相 当 額)	(199,604,781)
(G) 計 (D+E+F)	7,468,783,319
次 期 繰 越 損 益 金(G)	7,468,783,319
追 加 信 託 差 損 益 金	1,130,403,485
(配 当 等 相 当 額)	(931,446,155)
(売 買 損 益 相 当 額)	(198,957,330)
分 配 準 備 積 立 金	6,338,379,834

（注1）損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

（注2）損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注3）損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注4）計算期間末における費用控除後の配当等収益（89,874,020円）、費用控除後の有価証券等損益額（1,561,439,775円）、信託約款に規定する収益調整金（1,130,403,485円）および分配準備積立金（4,687,066,039円）より分配対象収益は7,468,783,319円（10,000口当たり7,361.26円）ですが、当期に分配した金額はありません。

■ 1万口当たりの費用明細（2023年11月11日～2024年5月10日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	31円	0.285%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は10,939円です。
（投 信 会 社）	(30)	(0.273)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	(0)	(0.000)	販売会社分は、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.011)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売 買 委 託 手 数 料	2	0.019	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(2)	(0.019)	
そ の 他 費 用	5	0.049	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(3)	(0.029)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(2)	(0.020)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	39	0.353	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況（2023年11月11日～2024年5月10日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アクサ IM・グローバル・ フィンテック関連株式マザーファンド	73,619	120,000	336,003	560,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買比率（2023年11月11日～2024年5月10日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	8,810,951千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	19,524,476千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.45

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2023年11月11日～2024年5月10日）

期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2023年11月11日～2024年5月10日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2024年5月10日現在）

親投資信託残高

種 類	期 首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	千口 1,298,758	千口 1,036,375	千円 1,861,433

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2024年5月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	1,861,433	98.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	28,650	1.5
投 資 信 託 財 産 総 額	1,890,084	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建て資産（18,917,191千円）の投資信託財産総額（19,474,116千円）に対する比率は、97.1%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=155.70円、1シンガポールドル=115.06円、1英ポンド=194.95円、1スウェーデンクローナ=14.34円、1メキシコペソ=9.277円、100インドネシアルピア=0.97円、1ブラジルリアル=30.26円、1南アフリカランド=8.43円、1ユーロ=167.83円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年5月10日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	3,652,670,681円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	28,650,620
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド(評価額)	1,861,433,406
未 収 入 金	1,762,586,655
(B) 負 債	1,802,611,571
未 払 金	1,786,474,998
未 払 解 約 金	10,000,000
未 払 信 託 報 酬	5,572,273
そ の 他 未 払 費 用	564,300
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,850,059,110
元 本	1,668,574,214
次 期 繰 越 損 益 金	181,484,896
(D) 受 益 権 総 口 数	1,668,574,214口
1万口当り基準価額(C/D)	11,088円

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 期首元本額 | 1,953,655,663円 |
| 期中追加設定元本額 | 70,995,404円 |
| 期中一部解約元本額 | 356,076,853円 |
| 2. 1口当たり純資産額 | 1,1088円 |

■損益の状況

当期(自 2023年11月11日 至 2024年5月10日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 7,749円
受 取 利 息	1,180
支 払 利 息	△ 8,929
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	227,668,710
売 買 益	474,509,923
売 買 損	△246,841,213
(C) 先 物 取 引 等 損 益	1,405,740
取 引 益	6,854,335
取 引 損	△ 5,448,595
(D) 信 託 報 酬 等	△ 6,140,865
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	222,925,836
(F) 前期繰越損益金	△195,854,002
(G) 追加信託差損益金	154,413,062
(配 当 等 相 当 額)	(202,370,489)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 47,957,427)
(H) 計 (E+F+G)	181,484,896
次 期 繰 越 損 益 金(H)	181,484,896
追 加 信 託 差 損 益 金	154,413,062
(配 当 等 相 当 額)	(202,446,879)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 48,033,817)
分 配 準 備 積 立 金	677,081,121
繰 越 損 益 金	△650,009,287

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(9,753,867円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(202,446,879円)および分配準備積立金(667,327,254円)より分配対象収益は879,528,000円(10,000口当たり5,271.14円)ですが、当期に分配した金額はありません。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
運用方法	<p>1. 主として、日本を含む世界のフィンテック関連企業の株式に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。投資にあたっては、①キャッシュレス・ビジネス、②テクノロジーを積極的に取り込む金融ビジネス、③フィンテックの技術基盤の3つの成長テーマに着目します。</p> <p>※当ファンドにおいてフィンテック関連企業とは、多岐にわたる新たなテクノロジーを通じて、保険、資産運用、融資、決済などの既存の金融サービスに変革をもたらす企業をいいます。</p> <p>2. ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行うことを基本とします。</p> <p>イ) 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式の中から、金融・経済情勢などを勘案した上で、フィンテック分野で長期にわたり成長の可能性を有する企業群を選定します。その中から、流動性の低い銘柄を除外したものを投資対象銘柄として選定します。</p> <p>ロ) 投資対象銘柄の中から、詳細なファンダメンタル企業分析を行い、中長期的な収益成長性、フィンテック分野における優位性、新しい技術を開発または活用する能力、市場をリードする商品・サービスの有無、強力な経営陣などを考慮することで、組入候補銘柄を選定します。</p> <p>ハ) 選定した組入候補銘柄から、株価の上昇期待度や下落の余地、ポートフォリオ全体のリスクなどを考慮して、確信度に基づいて組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>3. 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。</p> <p>4. 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズ・パリに運用の指図に関する権限を委託します。</p> <p>5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>6. 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</p>
株式組入制限	無制限

アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド

運用報告書

第6期（決算日：2024年5月10日）

（計算期間 2023年5月11日～2024年5月10日）

■最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		株組入比率	純資産額
		期騰	落中率		
	円		%	%	百万円
2期(2020年5月11日)	10,478		0.7	94.3	56,348
3期(2021年5月10日)	15,656		49.4	96.1	56,035
4期(2022年5月10日)	12,508		△20.1	95.9	26,535
5期(2023年5月10日)	13,737		9.8	96.8	23,051
6期(2024年5月10日)	17,961		30.7	95.9	19,474

(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

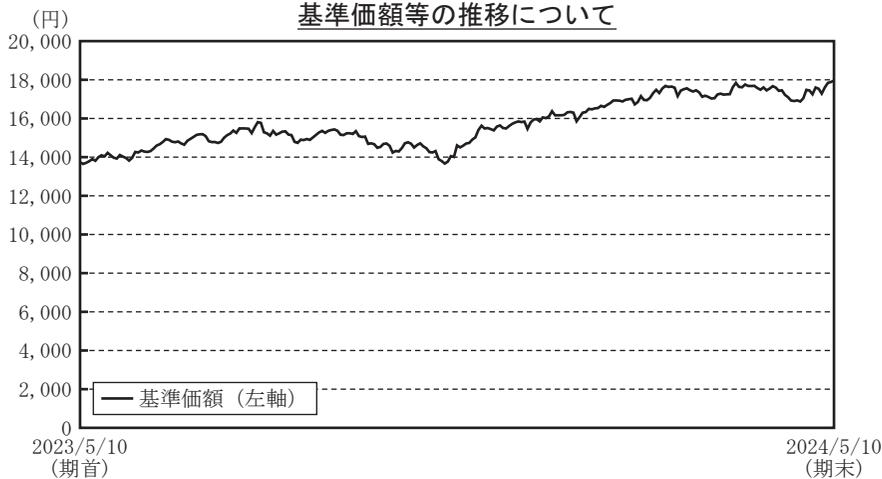
■当期中の基準価額の推移

年月日	基準	価額		株組入比率
		騰	落率	
(期首) 2023年5月10日	円		%	%
5月末	13,737		—	96.8
6月末	13,955		1.6	96.2
7月末	15,042		9.5	94.8
8月末	15,548		13.2	95.4
9月末	15,358		11.8	94.9
10月末	14,684		6.9	95.0
11月末	13,768		0.2	95.0
12月末	15,610		13.6	95.2
2024年1月末	16,300		18.7	95.1
2月末	17,019		23.9	95.8
3月末	17,460		27.1	96.6
4月末	17,679		28.7	94.7
4月末	17,601		28.1	95.4
(期末) 2024年5月10日	17,961		30.7	95.9

(注1) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2023年5月11日～2024年5月10日）



【基準価額の主な変動要因】

当期は、米国や欧州を中心に保有銘柄の株価が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

当期のグローバル株式市場は、期初より欧州および日本を除くアジア太平洋地域がドル高の影響により悪化したため下落しました。6月に入ると一転して、米国債務上限問題の解決、銀行経営危機の収束、米国の利上げ停止（あるいは一時停止）などの好材料が相まって株価は上昇しました。7月も特に北米の経済が予想以上に底堅い成長を示したことや、良好な2023年4－6月期の企業決算発表などにより堅調に推移しました。8月に入ると前月の上昇から反転して、マクロ経済の不透明感が投資家心理に影響したことから下落し、9月も米連邦準備理事会（FRB）の「タカ派的な利上げ一時停止」の発表により下押し圧力が強まったことや、投資家のソフトランディングを軸としたシナリオが楽観的すぎるように見え始めたことが要因となり続落しました。10月に入るとイスラエルとハマスの対立が再燃し、中東の緊張が極度に高まったことや、中国の需要減による日本の経済活動の低下など不確実な状況の中で引き続き下落しましたが、11月にFRBが現在の利上げサイクルを終了させるとの期待や、2024年に利下げが行われる可能性があるとの見方に後押しされて大きく上昇しました。ガザでの停戦合意も市場のセンチメントの好材料となりました。12月もインフレ率の減速、FRBの利上げ終了及び2024年前半における利下げ開始への期待感が市場を押し上げて堅調なパフォーマンスを持続しました。2024年1月以降も良好なマクロ経済統計の発表および2023年10－12月期の好調な決算発表が好感されて、米国、欧州、日本で高値を更新しました。2月も上昇トレンドを継続し、3月は好調なマクロ経済を背景に、世界の株価指数は歴史的な高値を記録しました。4月に入ると一転して、米国の利下げ開始はやや後ずれするとの見方に傾き始めたことや地政学面においては中東における対立が深刻化し、投資家のリスク選好度に重くのしかかったことも影響して下落しましたが、期を通して上昇しました。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初は135円台から期末には155円台となり、ユーロ・円レートは期初の148円台から期末には167円台となりました。

当期は、米ドルはFRBによる早期の利下げ観測が後退したことや、日銀が4月の金融政策決定会合で金融政策の現状維持を決定したことを受けて日米金利差が開いた状況が長く続くとの見方が強まったことなどから、ユーロはユーロ圏の景気回復期待から米ドル・ユーロに対して円安が進行しました。

【ポートフォリオについて】

当ファンドは、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマであるキャッシュレス・ビジネス、フィンテック技術基盤、次世代金融リーダーに着目して、フィンテック企業に投資を行います。フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長を目指します。企業規模の面ではビザやロンドン証券取引所グループのような大型株からフィネコバンク・バンカ・フィネコやネクシィなどの中小型株にも幅広く投資しています。地域別ではフィンテック関連企業の技術革新において先進的な地域である米国を中心に、グローバルに投資をしています。

期の前半は、中国の金融サービスプロバイダーLux Holdingの株式を中国市場の反発を捉えて全売却しました。政府による追加景気刺激策の話が出ているにも関わらず、中国が2023年後半にはデフレに陥る可能性があるとの見方が強まっているためです。この売却代金を用いて、オーストリアの銀行エアステ・グループ・バンクを新たに組み入れました。同社は預金業務やコーポレートバンキング、および投資銀行業務に従事しており、長年にわたるIT投資により同地域でデジタル面の高い競争優位性を保っています。後半は、フランスの電子決済プラットフォームの開発・運営企業ワールドラインと中国のインシュアテック企業衆安在線財産保険を全売却しました。また、スペインのサンタンデル銀行の株式を一部売却し、銀行への資産配分を縮小しました。一方で、教育・医療・旅行などの業種に特化した決済ソリューションを提供する米国のフライワイヤーと様々なフィンテック・ソリューションを開発するERPソフトウェアを提供するスウェーデンのフォートノックスを新たに組み入れました。

【当ファンドのベンチマークとの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【今後の運用方針】

当ファンドは、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマであるキャッシュレス・ビジネス、フィンテック技術基盤、次世代金融リーダーに着目して、フィンテック企業に投資を行います。フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長を目指します。

■ 1万口当たりの費用明細 (2023年5月11日～2024年5月10日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料 (株式)	6円 (6)	0.040% (0.040)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
その他費用 (その他)	6 (6)	0.035 (0.035)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合計	12	0.076	

(注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 「比率」欄は、「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額 (15,734円) で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2023年5月11日～2024年5月10日)

株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
国内	日本	千株 70.6	千円 251,361	千株 18.5	千円 172,992
	アメリカ	百株 2,915.03	千米ドル 12,537	百株 21,433.13	千米ドル 42,162
外国	香港	76	千香港ドル 131	5,461	千香港ドル 7,431
	シンガポール	17 (94)	千シンガポールドル 56 (-)	523	千シンガポールドル 1,670
	イギリス	186.08	千英ポンド 363	16,353.68	千英ポンド 10,227
	スウェーデン	2,968.47	千スウェーデンクローナ 21,692	829.04	千スウェーデンクローナ 12,600
	メキシコ	70	千メキシコペソ 1,152	1,259	千メキシコペソ 20,397
	インドネシア	836	千インドネシアルピア 801,974	14,158	千インドネシアルピア 13,082,889
	ブラジル	7,958	千ブラジルリアル 3,743	23,143	千ブラジルリアル 10,461
	南アフリカ	2.74	千南アフリカランド 534	46.47	千南アフリカランド 8,827
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	オランダ	661.3	838	2,862.77	4,898
フランス	306.82	1,202	2,194.43	4,947	

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	ユーロ	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ
	ド イ ツ	21.07	339	1,707.89	2,841
	ス ペ イ ン	145.29	56	6,369.08	2,433
	イ タ リ ア	1,692.04	1,527	4,063.63	3,414
	オ ー ス ト リ ア	572.82	1,839	201.83	765

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) ()内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合 (2023年5月11日～2024年5月10日)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	15,978,616千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	20,626,989千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.77

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

■主要な売買銘柄 (2023年5月11日～2024年5月10日)

買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
WORKDAY INC-CLASS A	6.842	297,984	43,552	NETWORK INTERNATIONAL HOLDIN	1,408.016	1,001,835	711
ERSTE GROUP BANK AG	57.282	285,939	4,991	ING GROEP NV-CVA	285.451	604,208	2,116
INTUIT INC	4.718	278,611	59,052	HDFC BANK LTD-ADR	65.511	553,023	8,441
PAYLOCITY HOLDING CORP	11.483	265,883	23,154	PAYCOM SOFTWARE INC	15.079	500,385	33,184
FLYWIRE CORP-VOTING	67.818	214,483	3,162	LONDON STOCK EXCHANGE GROUP	30.22	484,238	16,023
FORTNOX AB	250.684	213,973	853	VISA INC.	13.45	477,640	35,512
NU HOLDINGS LTD/CAYMAN ISL-A	108.836	206,722	1,899	PAGSEGURO DIGITAL LTD-CL A	257.806	434,769	1,686
フリー	64.2	182,358	2,840	PAYPAL HOLDINGS INC	46.608	417,069	8,948
WORKIVA INC	10.658	150,585	14,128	BANCO SANTANDER SA	636.908	395,613	621
NEXI SPA	119.771	136,483	1,139	PALO ALTO NETWORKS INC	9.685	381,212	39,361

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

■利害関係人との取引状況等 (2023年5月11日～2024年5月10日)

期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2023年5月11日～2024年5月10日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2024年5月10日現在）

(1) 国内株式

銘柄	前期末	当 期 末	
	株 数	評 価 額	
	千株	株 数	金 額
		千株	千円
情報・通信業（100.0%）			
GMOペイメントゲートウェイ	49.4	37.3	291,574
フリー	—	64.2	189,390
合 計	49.4	101.5	480,964
株数・金額 銘柄数<比率>	1	2	<2.5%>

(注1) 銘柄欄の（ ）内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 合計欄の< >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国株式

銘柄	前期末	当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千米ドル	千円	
(アメリカ)					
CYBERARK SOFTWARE LTD/ISRAEL	171.67	130.53	3,045	474,249	ソフトウェア・サービス
BLACKLINE INC	284.52	219.54	1,295	201,641	ソフトウェア・サービス
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A	129.58	98.53	3,132	487,755	ソフトウェア・サービス
FLYWIRE CORP-VOTING	—	622.4	1,100	171,332	金融サービス
FISERV INC	434.09	312.02	4,826	751,410	金融サービス
GLOBAL PAYMENTS INC	322.69	208.34	2,324	361,916	金融サービス
HDFC BANK LTD-ADR	645.99	—	—	—	銀行
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	479.17	291.49	3,933	612,470	金融サービス
INTUIT INC	—	35.38	2,217	345,316	ソフトウェア・サービス
LUFAX HOLDING LTD	10,725.73	—	—	—	金融サービス
MERCADOLIBRE INC	31.81	25.37	4,301	669,701	一般消費財・サービス流通・小売り
PALO ALTO NETWORKS INC	210.06	115.76	3,422	532,910	ソフトウェア・サービス
PAYCOM SOFTWARE INC	150.79	—	—	—	商業サービス・用品
PAYLOCITY HOLDING CORP	—	105.39	1,726	268,766	商業サービス・用品
PAYPAL HOLDINGS INC	804.73	350.13	2,256	351,350	金融サービス
PAYONEER GLOBAL INC	7,857.24	4,796.47	2,815	438,377	金融サービス
S&P GLOBAL INC	111.71	84.96	3,672	571,844	金融サービス
SHIFT4 PAYMENTS INC-CLASS A	529.01	458.61	2,798	435,788	金融サービス
SYNCHRONY FINANCIAL	689	—	—	—	金融サービス
VISA INC.	317.44	199.85	5,566	866,723	金融サービス
WEX INC	226.68	185.4	3,863	601,497	金融サービス

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額	外貨建金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
WORKDAY INC-CLASS A	—	63.03	1,550	241,379	ソフトウェア・サービス
WORKIVA INC	325.4	332.12	2,741	426,823	ソフトウェア・サービス
ZSCALER INC	184.48	114.91	1,975	307,662	ソフトウェア・サービス
NU HOLDINGS LTD/CAYMAN ISL-A	—	1,088.36	1,283	199,790	銀行
PAGSEGURO DIGITAL LTD-CL A	3,863.8	1,310.06	1,659	258,438	金融サービス
STONECO LTD-A	3,401.69	2,230.53	3,724	579,980	金融サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	31,897.28 22	13,379.18 23	65,235 —	10,157,127 <52.2%>
(香港)			千香港ドル		
ZHONGAN ONLINE P&C INSURAN-H	5,385	—	—	—	保険
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	5,385 1	— —	— —	— <—>
(シンガポール)			千シンガポール ドル		
DBS GROUP HOLDINGS LTD	1,446	1,034	3,647	419,733	銀行
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,446 1	1,034 1	3,647 —	419,733 <2.2%>
(イギリス)			千英ポンド		
GB GROUP PLC	5,383.81	4,094.22	1,282	249,986	ソフトウェア・サービス
LONDON STOCK EXCHANGE GROUP	645.32	349.61	3,203	624,449	金融サービス
EXPERIAN PLC	1,871.58	1,369.44	4,653	907,171	商業サービス・用品
NETWORK INTERNATIONAL HOLDIN	14,080.16	—	—	—	金融サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	21,980.87 4	5,813.27 3	9,138 —	1,781,607 <9.1%>
(スウェーデン)			千スウェーデン クローナ		
NORDNET AB PUBL	2,144.56	1,954.34	38,852	557,141	金融サービス
FORTNOX AB	—	2,329.65	14,821	212,536	ソフトウェア・サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,144.56 1	4,283.99 2	53,673 —	769,678 <4.0%>
(メキシコ)			千メキシコペソ		
GRUPO FINANCIERO BANORTE-0	4,964	3,775	66,156	613,777	銀行
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	4,964 1	3,775 1	66,156 —	613,777 <3.2%>
(インドネシア)			千インドネシア ルピア		
BANK CENTRAL ASIA TBK PT	58,342	45,020	42,206,250	409,400	銀行
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	58,342 1	45,020 1	42,206,250 —	409,400 <2.1%>
(ブラジル)			千ブラジルレアル		
CIELO SA	28,314	13,129	7,339	222,082	金融サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	28,314 1	13,129 1	7,339 —	222,082 <1.1%>

銘柄	株数	金額	前期末	当	期 末		業 種 等
			株数	株数	評 価 額	評 価 額	
					外貨建金額	邦貨換算金額	
(南アフリカ)	百株	百株			千南アフリカランド	千円	
CAPITEC BANK HOLDINGS LTD	191.59	147.86	33,811	285,032			銀行
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	191.59 1	147.86 1	33,811 —	285,032 <1.5%>		
(オランダ)					千ユーロ		
ADYEN NV	16.08	7.97	977	163,990			金融サービス
ING GROEP NV-CVA	3,042.27	848.91	1,361	228,440			銀行
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,058.35 2	856.88 2	2,338 —	392,430 <2.0%>		
(フランス)					千ユーロ		
SOCIETE GENERALE-A	1,772.32	995.74	2,515	422,132			銀行
EDENRED	751.01	595.89	2,768	464,638			金融サービス
WORLDFLAME SA	955.91	—	—	—			金融サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,479.24 3	1,591.63 2	5,283 —	886,770 <4.6%>		
(ドイツ)					千ユーロ		
HYPOPORT SE	194.1	126.65	3,665	615,139			金融サービス
FLATEXDEGIRO AG	1,619.37	—	—	—			金融サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,813.47 2	126.65 1	3,665 —	615,139 <3.2%>		
(スペイン)					千ユーロ		
BANCO SANTANDER SA	10,143.49	3,919.7	1,869	313,791			銀行
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	10,143.49 1	3,919.7 1	1,869 —	313,791 <1.6%>		
(イタリア)					千ユーロ		
NEXI SPA	5,069	3,638.64	2,207	370,434			金融サービス
FINECOBANK SPA	3,657.45	2,716.22	4,071	683,338			銀行
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	8,726.45 2	6,354.86 2	6,278 —	1,053,773 <5.4%>		
(オーストリア)					千ユーロ		
ERSTE GROUP BANK AG	—	370.99	1,688	283,297			銀行
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	370.99 1	1,688 —	283,297 <1.5%>		
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	27,221 10	13,220.71 9	21,123 —	3,545,202 <18.2%>		
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	181,886.3 43	99,803.01 42	— —	18,203,643 <93.5%>		

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 小計欄の< >内は純資産総額に対する各通貨別評価額の比率。

(注3) 合計欄の< >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注4) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2024年5月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	18,684,607	95.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	789,509	4.1
投 資 信 託 財 産 総 額	19,474,116	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 期末における外貨建て資産(18,917,191千円)の投資信託財産総額(19,474,116千円)に対する比率は、97.1%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=155.70円、1シンガポールドル=115.06円、1英ポンド=194.95円、1スウェーデンクローナ=14.34円、1メキシコペソ=9.277円、100インドネシアルピア=0.97円、1ブラジルリアル=30.26円、1南アフリカランド=8.43円、1ユーロ=167.83円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年5月10日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	19,520,782,368円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	777,680,053
株 式(評価額)	18,684,607,418
未 収 入 金	46,665,600
未 収 配 当 金	11,829,297
(B) 負 債	46,681,740
未 払 金	46,681,740
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	19,474,100,628
元 本	10,842,445,105
次 期 繰 越 損 益 金	8,631,655,523
(D) 受 益 権 総 口 数	10,842,445,105口
1万口当り基準価額(C/D)	17,961円

1. 期首元本額	16,781,203,250円
期中追加設定元本額	377,297,562円
期中一部解約元本額	6,316,055,707円
2. 1口当たりの純資産額	1,7961円
3. 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額	
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド(為替なし)	9,806,069,955円
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド(為替あり)	1,036,375,150円
期末元本合計	10,842,445,105円

■損益の状況

(2023年5月11日～2024年5月10日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	361,513,453円
受 取 配 当 金	321,704,557
受 取 利 息	39,894,064
支 払 利 息	△ 85,168
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	5,408,437,944
売 買 益	7,017,775,002
売 買 損	△1,609,337,058
(C) そ の 他 費 用	△ 7,669,036
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	5,762,282,361
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	6,270,615,017
(F) 解 約 差 損 益 金	△3,643,944,293
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	242,702,438
(H) 計 (D+E+F+G)	8,631,655,523
次 期 繰 越 損 益 金(H)	8,631,655,523

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注3) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定を託した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。